

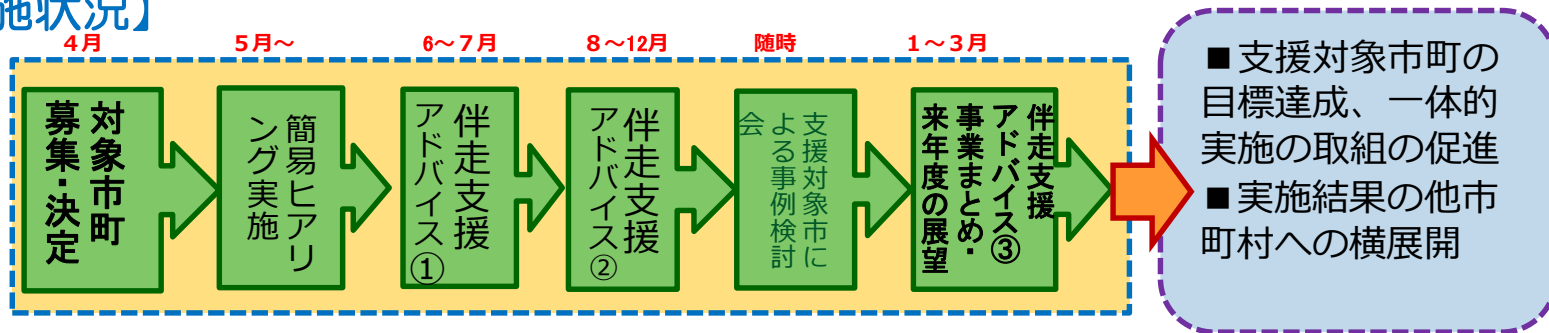
【事業概要】

- 令和元年～2年に、通いの場への専門職派遣モデル事業を実施し、市町における専門職による通いの場への取組を支援。（延べ6市町、専門職：PT・OT・管理栄養士・歯科衛生士）
- 令和3年度から、市町村が取り組む一体的実施への伴走支援事業を開始。
アドバイザー：神奈川県立保健福祉大学 田中 和美教授（栄養学）
- 令和5年度は、4市町（海老名市、座間市、綾瀬市、二宮町）に対し、支援を実施。

【令和5年度実施状況】

【伴走支援方法】

■市町村ごとの課題に寄り添いながら継続的に伴走。県職員が毎回同行し状況を直接ききとり、まとめを実施、次の支援策を検討。



【取組の詳細】

- 伴走支援アドバイス①～③
 - ・ヒアリングによる課題抽出及び基礎的な助言
 - ・課題に対応した支援
 - ・定期的なモニタリング及び助言
- 様々な専門分野からの支援
 - ・理学療法士、作業療法士、保健福祉事務所、後期高齢者医療広域連合も支援に同席、アドバイス
- 神奈川県医師会との連携
 - ・神奈川県医師会在宅医療トレーニングセンター研修事業として、市町村職員や専門職を対象とした研修を実施

【今後】

- 市町村の一体的実施の取組、通いの場の活動への専門職による支援につなげていく
- 支援終了後も、県の専門職派遣事業などにより、市町村が実施する、一体的実施など地域の高齢者の健康状態の底上げを図る取組を支援していく
- 県医師会と引き続き連携、専門職が市町村の取組へ理解を深める研修を実施していく